

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 12月 16日

事業所名 ホッグ東住吉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		蜜にならないよう心がけています	広くはないスペースの有効利用を検討します
	2	職員の配置数は適切である	○		児童の特性に個別に付く場合もあります	職員数だけでなくより専門性を持った職員を配置するよう心がけていきます
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		室内の段差などはないようにしています	バリアフリー化については出来ていると思います
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		コロナ渦において換気や消毒の徹底をしています	児童の特性に合わせて心地よく過ごせるよう努めてまいります
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		課題や事象については随時共有している	振り返りや職員間のコンセンサスの部分をより注力したい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		令和3年11月にてアンケート配布実施	様々な要望にどう応え、どう対処するか検討していきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて掲載	認知度を上げるよう努めます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では評価には至っていません	今後も引き続き外部評価の導入を検討してまいります
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		オンライン研修や勉強会を増やしました	外部研修に参加できず、その機会を作りたい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		家庭での様子も確認し随時行っています	様々なニーズにどのように応えるかについて検討が必要
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		随時見直しを掛けております	家庭環境での様子やその把握を行うことが課題です
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ニーズにより組合せた取組みをおこなっています	地域支援としては今後の課題といたします
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画で設定した目標を組合せて取組んでいます	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員により担当児童を分けより詳しく提案できるようにしています	障がい特性が大きく違うため活動内容の幅を広げていきます
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		自主性を重んじた取組みをしています	コロナ渦が続くことも考えられ室内プログラムをさらに検討します
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		各児童の障がい特性に合わせて支援しています	障がい特性が大きく違うため集団活動における内容を検討いたします	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		随時共有できるようにしています	職員の勤務数により以前の様子などの把握を課題とします
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気づいた点や事象について共有しています	共有レベルを上げることを目標にしています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		児童別に気づいた点を記録するようにしています	より簡潔に記載するようにしています
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		長期、短期の目標設定の達成度合いにより見直しの判断をしています	目標が高すぎることはないよう努めます
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者を設けております	対象の相談支援事業所がありません
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		担当者を設けております	関係機関との連携には注力しており継続していきます
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象児童の利用がありません	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象児童の利用がありません	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有できるよう努めています	より一層の連携実施に努めてまいります
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			対象児童の利用がありません	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			対象児童の利用がありません	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在まで機会がありません	交流する機会があれば積極的に検討してまいります
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	地域の連絡会への参加をしています	開催時間等の機会があれば積極参加してまいります
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		様々な確認手段にてご相談などにて共通理解を図るよう心掛けています	家庭や学校の様子などの把握が課題です
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ご相談に對してできる限りの助言や訪問を行っています	児童の様々な状況からさらに助言できる体制づくりを心掛けていきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		丁寧な説明を心掛けています	引き続き丁寧な説明をしていきます
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		目標設定などわかりやすく説明をしています	引き続き丁寧な説明をしていきます

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		様々な取り組みや試みをした上での助言などを行っています	知識や経験を増やしより有効な助言ができるよう努めます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者同士の連携に配慮しています	現在は保護者会等は設けていません。今後の課題といたします
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応するよう心掛けています	職員個々の対応スキル向上に努めます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		イベント等の予定のお知らせ等を発行しております	ホームページ等の活用を課題としています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類等の取扱いに十分な配慮をしています	新しい職員にも認識の徹底をまいります
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者様に応じて様々なツールを使用しています	絵カードなどツールの更新などを検討してまいります
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在まで機会がありません	交流する機会があれば積極的に検討してまいります
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルに工夫し周知するよう努めています	保護者の方に周知出来ていない部分もあり課題としております
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		様々な有事を想定し実施しています	より実際に近い訓練を心掛けます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご利用開始時に確認するようにしています	服薬の変化など再度確認するよう努めます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		指示に基づいて対応しています	保護者様との認識違いがないよう努めます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		閲覧できる状態にしています	振り返りやヒヤリハットの勉強会を検討します
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修への参加や勉強会をおこなっています	様々なケースを想定し研修機会確保に努めます
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		対象となりうる場合は支援計画に入れ、かつ保護者への説明を行っています	記載内容がわかりやすよう努めます

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。